

平成 30 年度当初予算編成に寄せられた意見と市の考え方について

(1) 意見募集結果

意見募集期間	平成 29 年 12 月 8 日～平成 29 年 12 月 25 日
意見募集結果	提出者数 1 名、 提出件数 4 件
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 0 件

(2) 意見内容と市の考え方

No.	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載してあります	意見に対する考え方	案の修正の有無
1	1. かつては市民説明会があったので不明な点は質問できたのに、3 回ほど開かれてから市民説明会が廃止となり、残念だ。開くのが大変ならば、質疑応答できる機会を持ってほしい。	<p>予算説明会につきましては、事前準備の手間や休日出勤する職員の人数に比して、市民の方の出席が少ないことから、平成 27 年度当初予算編成より実施していませんが、市 HP 等により意見公募を行うとともに、予算要求状況に関する資料につきましては充実を図っております。</p> <p>なお、ご質問につきましては、要求状況の公表とあわせて財政課で受け付けております。</p>	無
2	H30 年度一般会計当初予算要求にかんして 義務的経費も政策的経費も 10 億円ずつ増加している。前者は元の金額が 350 億円だが、後者は 70 億円。伸び率にすると大変な違いといえる。特に後者は 14% も伸びている。その理由は何なのか？	<p>公表しております資料「平成 30 年度一般会計当初予算の要求状況」のうち、義務的経費を含めた経常的経費は 1.8% (約 7.4 億円) 増、政策的経費は 29.1% (約 20 億円) 増の要求額となっております。平成 30 年度当初予算の要求額と前年度当初予算額とを比較したものであり、前年度当初予算額と比べて大きくなる傾向にあります。</p> <p>査定後の当初予算案と前年度当初予算で比較しますと、義務的経費を含めた経常的経費は 0.8% (約 3.2 億円) 増、政策的経費は 12.9% (約 9 億円) 増となります。</p> <p>なお、政策的経費につきましては、認定こども園整備のための施設整備補助、歴史的建造物保全整備事業、コミュニティバス 3 路線の本格</p>	無

No.	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載してあります	意見に対する考え方	案の修正の有無
		<p>運行等といった喫緊の課題である人口減少対策、地域経済活性化などを積極的に進めるための経費に重点をおくとともに、小・中学校の体育館屋根改修や防災行政無線デジタル化事業などといった安心安全なまちづくりに要する経費を計上しております。</p>	
3	<p>3. 一般職の給与に関して H30年度の一般職の一人当たり年間所得は797万円となっている。藤崎議員がよく議会で給与が高すぎるのではないかと質問するので、試しに議会職員人件費、市民税課の人件費、市民課人件費を割算したところ、平均年間所得をかなり上回るものが出てきました。市の計算が間違っているとは思いますが、平均所得だけを載せると藤崎議員の指摘の方が正しいと思う人が増えるでしょう。なぜなら政府発表の勤労者世帯の所得は90年代と比べても低迷していますから。おそらく私が計算した部門の平均年齢が高いのかもしれない。そうした点も説明してほしい。</p>	<p>平成30年度当初予算の要求状況についての補助資料3（人件費等の状況）は、ご意見にあります職員一人当たりの年間所得ではなく、平成30年度一般会計の予算に係る職員の給与費（給料及び手当の合計）及び共済費の年間合計額をお示ししております。</p> <p>ご参考までに、一般会計の決算額に係る職員一人当たりの給与費（給料及び手当の合計）につきましては、毎年12月15日号の広報で公表しており、平成28年度につきましては職員一人当たり6,191千円となっております。</p> <p>人件費につきましては、これからも引き続き適正化に努めてまいりますのでご理解下さいますようお願いいたします。</p>	無
4	<p>4. 23日の朝刊で厚労省の今年の人口動態統計の年間推計が発表されました。出生数は94万に程度で死亡数は134万人とのことで、人口減が過去最大となる40万人台となった。昨年の同じ推計が33万人だったので、僅か1年で40万人台を突破したということです。おそらくまもなく人口減は50万人台を突破し、60万人台になるのもそう遠くないと推計されます。そこで日本全体が人口減少になるという前提に立ち、中央政府のやみくもな地方誤導政策に乗らない、地に足の着いた地方政府としての政策を次の10年総合計画に</p>	<p>平成32年度を初年度とする次期総合計画については、平成31年11月議会での議決を目指して、策定作業を進めていくこととなります。</p> <p>市の将来都市像を含む総合計画の策定に当たっては、市民協働を進めていく必要があることから、平成30年度当初予算（案）には、市民意見交換会（（仮称）まちづくり懇談会）に係る費用等を計上しているところでございます。</p> <p>その市民意見交換会等でいただいたご意見、ご要望等を集約し、次期総合計画の基本施策、施策等を定めていくこととなります。</p>	無

No.	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載してあります	意見に対する考え方	案の修正の有無
	<p>組み込んでほしい。</p> <p>第1は、近隣窮乏化をさける子育て、若者対策の立案（他市町村から略奪するような政策は断じてしてはならない）。</p> <p>第2に不公平税制のもととなる「ふるさと納税」を止めるよう政府に要望すること。廃止することが無理なら、おまけのお土産をなくすべきと要望すべき。今のままでは地域振興にならないどころか、窮乏化してしまう。</p> <p>第3に今あるインフラを大事にしようすること。ちなみに街路樹があっても歯抜けのところが多々あり、せっかくの美観が損なわれている。あちこち旅行しているが、佐倉市は決して見劣りする街ではない。いっぺんに直すとお金がかかるだろうから10年間で整備してほしい。</p> <p>第4に消防団の定員を見直す必要があるのでは。これから佐倉市も17.5万人を維持できなくなるだろう。更に言えば高齢化も進んでいる。今までの定員を維持しようとするのは無理であることがよくわかるはずだ。定員を減少させても人件費相当部分を減額しなければ、一人当たりの出動手当てが増える。私が住んでいた以前の市は佐倉市の倍額の手当てを出していた。もちろん定員も半分ほどで定年制を取っていた。色々なことを同時にはできないだろうが、徐々に減らしていくべきではないだろうか。</p> <p>第5に車のない世帯の為にバス便の利便性向上を図る。来年からコミ</p>	<p>いただいたご意見につきまして、今後の事務の参考にさせていただきます。</p>	

No.	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載してあります	意見に対する考え方	案の修正 の有無
	<p>ユニティバスの試験運行が3路線で開始される。今回の路線は従来のバス会社が運行していない地域を対象にしている。ここで述べたいのは中央公民館へのアクセスをよくするグリーンバスへの働きかけである。現行の白銀ニュータウン～JR佐倉駅路線は中央公民館の利用者にとっては全く利用できないものである。しかしこの路線を公民館経由を可能にすれば公民館利用者にとって利便性が大いにます。もちろん市がバスが入れるように道路整備をしたり、グリーンバスが車両の選択をする必要がある。時間的には公民館の開館時間のみでよいと考える。</p> <p>第6にバスの利用促進のために、グリーンバス間の乗り換え割引の導入をグリーンバスに考えてもらうこと。できれば前期基本計画期間中に実現してほしいものだ。</p> <p>第7にゾーン料金の導入をグリーンバスに検討してもらう。</p>		